



内閣人事局に出向して

内閣官房内閣人事局服務・勤務時間第一係長

二瓶 和子

NIHEI Kazuko

平成22年 4月 総務省採用
 統計局統計調査部経済基本構造統計課
 平成24年 経済センサス準備室
 平成23年 4月 統計局統計調査部経済統計課企画第二係
 平成24年 4月 独立行政法人統計センター製表部
 管理企画課経済センサス業務推進室
 平成26年 4月 統計局総務課審査係
 平成29年 7月 現職

■国民全体の奉仕者として

内閣人事局は国家公務員の人事に関する諸政策を担う組織として、2014年5月に設置されました。そこで私は今、国家公務員の服務や倫理、勤務時間等に関する業務を担当しています。国民全体の奉仕者として、国家公務員が公共の利益のために働くには、官庁綱紀の厳正な保持が重要です。通常選挙、総選挙、統一地方選挙における国家公務員の服務規律の確保について通知を行ったり、国家公務員の倫理の保持に関する状況や倫理の保持に関して講じた施策を毎年国会に報告したりと、担当する業務内容は様々ですが、日々緊張感を持ちながら働いています。

人事行政に携わるのは初めてのことで、仕事の難しさに悪戦苦闘することも多々ありますが、周囲の皆さんの優しさに支えられながら業務に取り組んでいます。

■幅広い分野で活躍したいあなたに

総務省は、地方行政、情報通信、行政評価、統計行政など非常に幅広い業務を所掌しており、やりたいことをひとつに絞らなくてもいいところが魅力です。自分の可能性を限定せず、幅広い分野で活躍したい方におすすめの職場だと思います。

総務省では、地方自治体や他省庁、独立行政法人等に出向する機会もあります。入省3年目のときに独立行政法人統計センターに出向したことは、自分の中でもとても良い経験になっています。統計調査を実施する統計局の立場、調査結果を集計する統計センターの立場、それぞれの立場から調査に携わることができ、統計は一人で成し得るものではなく、たくさんの人々の力があってこそできるものだと感じました。ぜひ、あなたの力を総務省でいかしてみませんか。

Question & Answer

Q. 仕事をする上で心がけていることは？

A. 心がけていることは少し違うかもしれませんが、社会人になりたての頃、上司が「仕事は楽しく！」とよく口にしていたので、今でも「仕事は楽しく」という言葉を折に触れて思い出しています。実際に働いていると、仕事は難しく、目に見える形ですぐに成果が出ないこともあり、楽しみややり甲斐を見出すことが難しいこともあります。ただ、何事も日々の積み重ねが大事なので、焦らずコツコツ地道に仕事をするようにしています。

Q. 出向先から見る総務省の印象は？

A. 内閣人事局にいても、総務省の活躍は耳にしています。例えば、内閣人事局では業務の効率化や職場環境の改善に向けた創意工夫をいかした取組を行った国家公務員の職場のうち、特に優秀なものを表彰する「ワークライフバランス職場表彰」を行っているのですが、平成29年度表彰では行政評価局や行政管理局の取組が表彰されました。こうした職場の改革を始め、新しいことにチャレンジしている印象があります。



Private Life

おうちでのんびり本を読んだり、音楽を聴いたりするのも好きですが、旅行に出かけるのも好きです。どの土地に行ってもごはんがおいしくて、幸せな気持ちになります。47都道府県を制覇するのがひそかな夢です。写真は昨年行った屋久島です。

